

研究課題名	移植適応多発性骨髄腫患者に対する VRD 療法による寛解導入療法の有効性及び安全性の検証～ Kansai Myeloma Forum データベースを用いた後方視的研究～
研究の意義・目的	新たに多発性骨髄腫と診断され、自家造血幹細胞移植の適応となる年齢の方でボルテゾミブ、レナリドミド、デキサメタゾンの3剤による寛解導入療法が有効な患者群を明らかにするためことを目的としております。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～2025年3月
研究協力をお願いしたい方(対象)	2002年4月以降に 下記の Kansai Myeloma Forum 登録施設において、多発性骨髄腫の診断を受け、VRD 療法の治療を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	Kansai Myeloma Forum データベースに既に登録されている下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、診断日、治療歴、既往歴、検査データ】  なお、Kansai Myeloma Forum での情報収集については別研究である「骨髄腫関連疾患患者の臨床データおよび治療経過に関する疫学観察研究(承認番号：2019-067)」として倫理委員会の承認を受けています。
試料・情報の他機関への提供	この研究は Kansai Myeloma Forum からデータの提供を受けて大阪公立大学医学部附属病院血液内科が実施するもので、他の施設に個人の特定につながる情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	< 共同研究機関以外で、既存情報の提供を行う機関 > 関西骨髄腫フォーラム(KMF)事務局 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 大阪大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学内
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 研究責任者 高桑 輝人
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 高桑 輝人 電話番号：(06) 6645-3881 FAX：(06) 6645-3880